

1 フルオート便器洗浄ユニットの取付け（フルオート便器洗浄ユニット付の場合）

- フルオート便器洗浄ユニットに同梱されている専用の施工説明書にしたがって、フルオート便器洗浄ユニットを取り付ける。

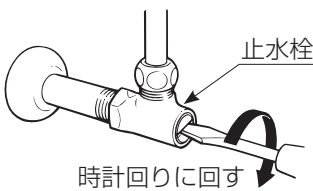
2 分岐金具の取付け【注意 2-1 参照】

1. 止水栓を閉める。

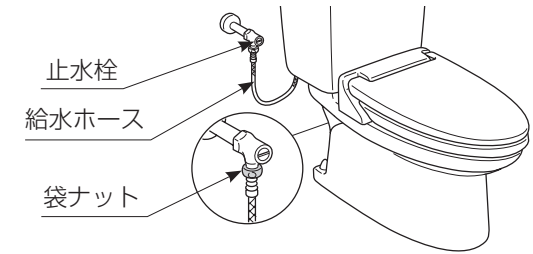
便器の止水栓をマイナスドライバーなどでいっばいに閉め、給水を止めます。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。

2. 給水を確認する。

止水栓と便器（ロータンク）の接続方式を確認してください。給水方式によって分岐金具の取付方法が異なります。
※ サプライ管を取り付ける場合は【補足 1】をご覧ください。

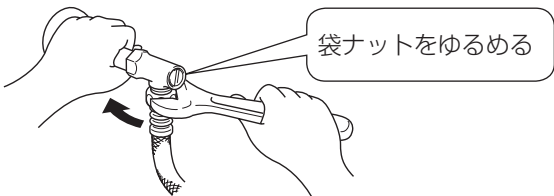


■止水栓とロータンクが給水ホースで接続されている場合（袋ナット固定）



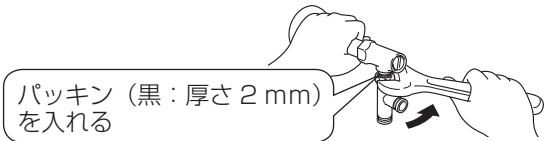
3. 給水ホースを取り外す。

※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



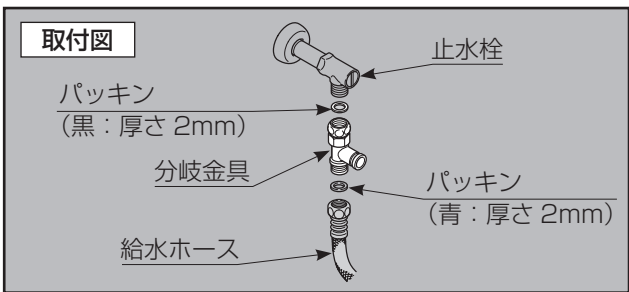
4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。

（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）



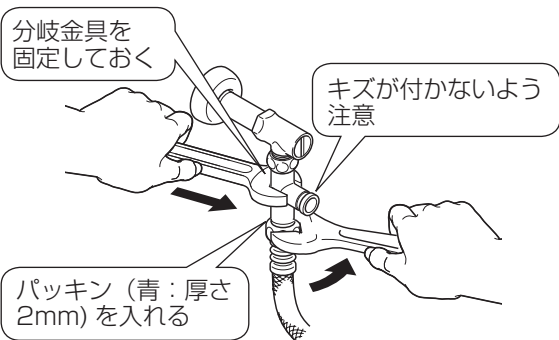
【注意 2-1】

- 止水栓にすでに分岐栓や旧タイプの分岐金具が付いている場合、必ずそれらを外し、付属の分岐金具または別売の CF-006（止水栓付）を使用する。
※ 漏水の原因になります。



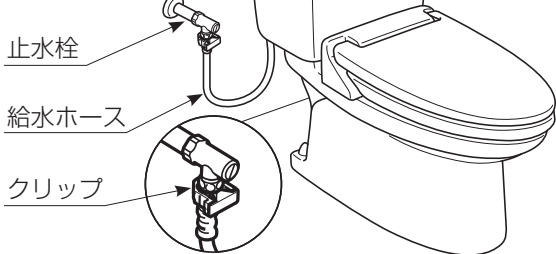
5. 給水ホースを取り付ける。

※ 給水ホースがなじれないように注意してください。

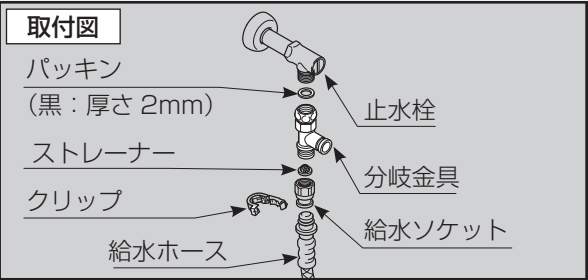
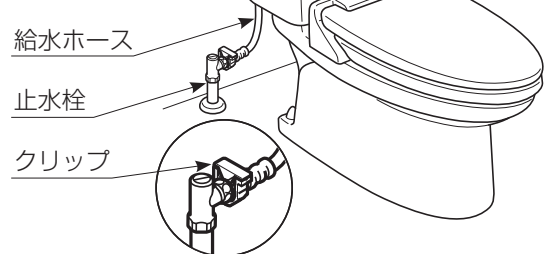


■止水栓と便器（ロータンク）が給水ホースで接続されている場合（クリップ固定）

〈壁給水の場合〉



〈床給水の場合〉

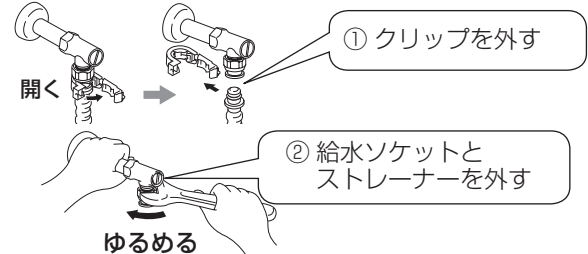


3. 給水ホースと給水ソケットを取り外す。

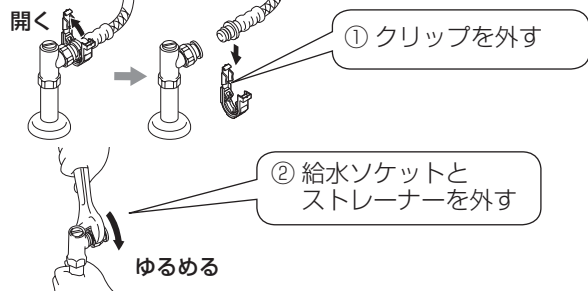
【参考 2-1 参照】

※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。

〈壁給水の場合〉

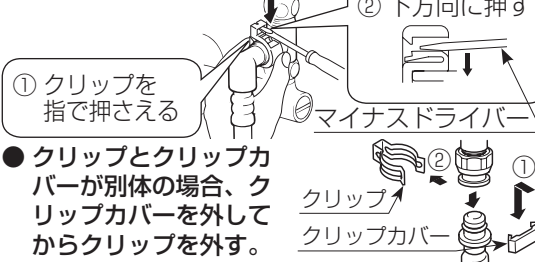


〈床給水の場合〉



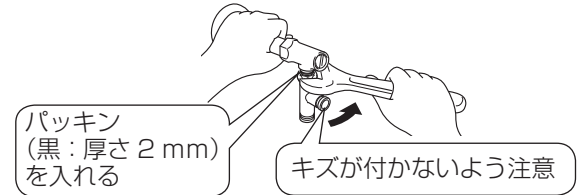
【参考 2-1】

● クリップを外す際は、下方向に押すようにして外す。



4. 分岐金具を止水栓に取り付ける。

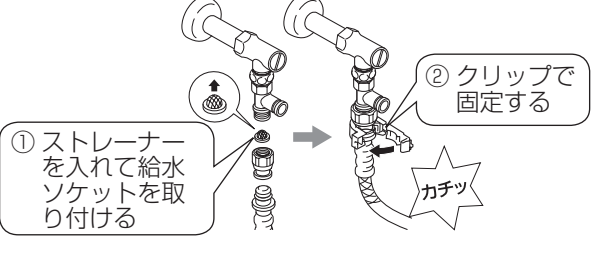
（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）



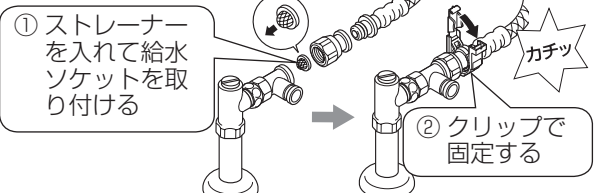
5. 給水ホースと給水ソケットを取り付ける。

【注意 2-2 参照】【注意 2-3 参照】

（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）

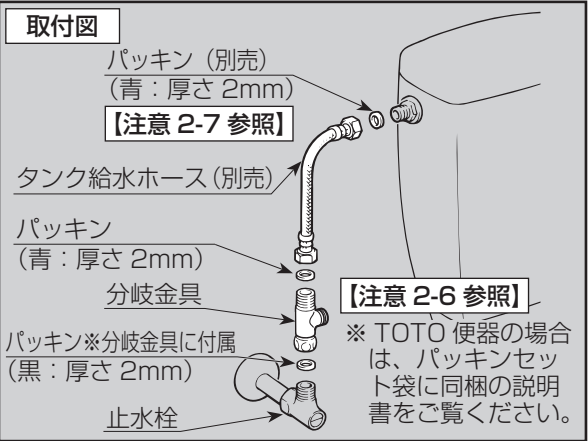
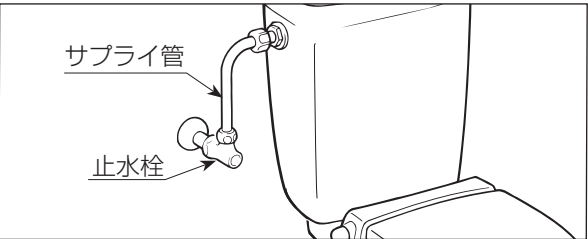


〈壁給水の場合〉



※ 取付け後にクリップを回し、確実にはまっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。

■止水栓と便器（タンク）がサプライ管で接続されている場合



3. サプライ管を外す。

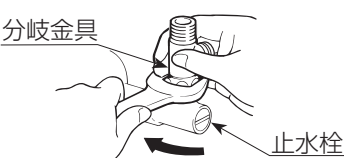
【注意 2-4 参照】

タンク側と止水栓側の袋ナットをゆるめてサプライ管を外します。
※ このとき、少量の水がこぼれますので、ぞうきんなどを下に置いてください。



4. 分岐金具を取り付ける。

パッキン（黒：厚さ 2mm）を入れて分岐金具を止水栓に取り付けます。
（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）



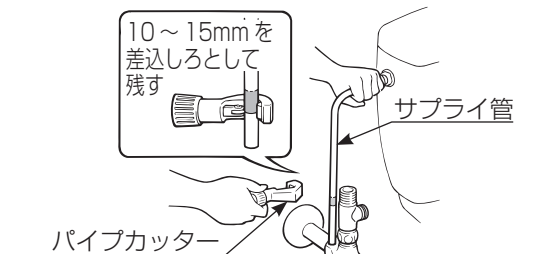
サプライ管を切断して取り付ける場合は、【補足 1】をご覧ください。

補足 1 サプライ管の取付け【注意 2-4 参照】

1. サプライ管（分岐金具側）を切断する。

【注意 2-5 参照】

※ サプライ管の切断にはパイプカッターを使用してください。

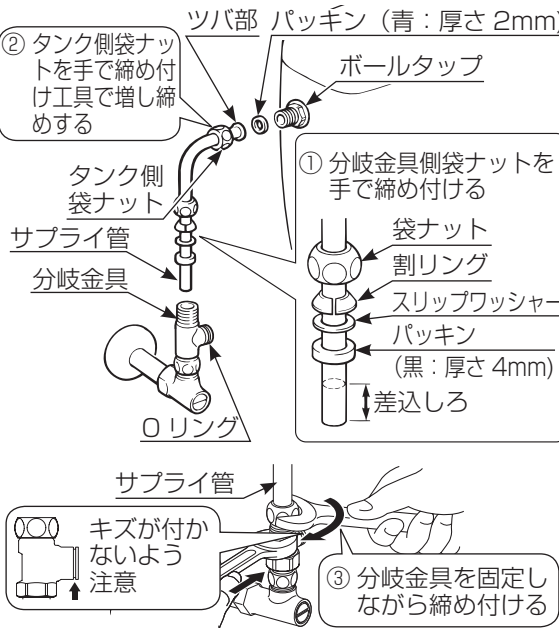


2. サプライ管を取り付ける。

【注意 2-6 参照】【注意 2-7 参照】

【注意 2-8 参照】

（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）

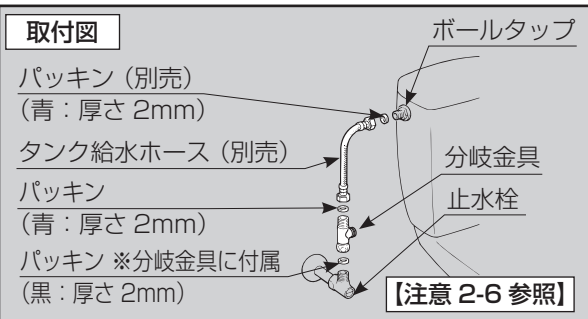


【注意 2-2】

- O リングにキズを付けないように注意する。
※ O リングが切れたりキズが付いたりすると漏水します。

補足 2 タンク給水ホースの取付け

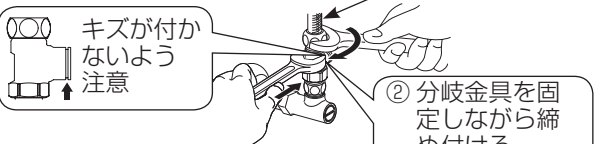
※ 【タンク給水ホースの使用可能な条件】を確認してください。（☞ P.3）



1. タンク給水ホースを取り付ける。

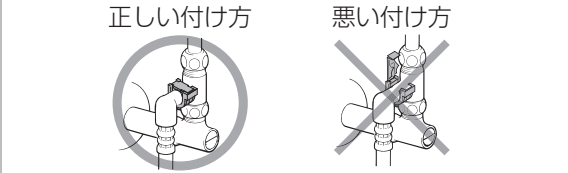
【注意 2-7 参照】【注意 2-8 参照】【注意 2-9 参照】

※ 給水ホースがなじれないように注意してください。
（締付トルク 10 ～ 15N・m {100 ～ 150kgf・cm}）

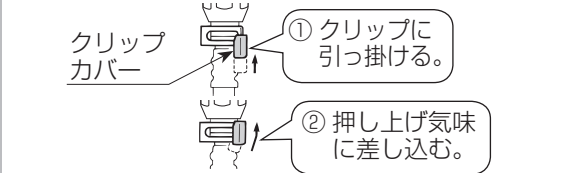


【注意 2-3】

● クリップは確実にはめ込む。



● クリップとクリップカバーが別体の場合、クリップカバーは下記のようにはめ込む。



【注意 2-4】

● 止水栓やサプライ管に無理な力をかけない。
※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 2-5】

- サプライ管のツバ部は絶対に切断しない。
- サプライ管の切断は必ずパイプカッターを使用し、切断後は必ず水洗いなどで完全に切り粉を取り除いてから接続する。
- 止水栓が上下に 5mm 以上動く場合は、動かないように止水栓を固定する。
- 固定できない場合はタンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。
※ 漏水の原因になります。

【注意 2-6】

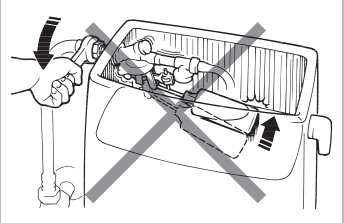
- 各部品の向きと順序を間違えないようにする。
※ 間違えると漏水します。
- 既存のサプライ管に割リングが付いていない場合は、タンク給水ホース（品番：CWA-24C）を使用する。
※ 漏水の原因になります。
- サプライ管の接続は確実に行う。
※ 漏水の原因になります。

【注意 2-7】

- 当社製ストレーナー付便器の場合は、ストレーナー付パッキン（品番：26-10-2）に交換する。
このとき同梱のパッキン（青：厚さ 2mm）は取り付けない。

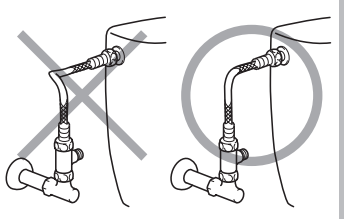
【注意 2-8】

- ボールタップが回転しないように固定しながら袋ナットを締め付ける。
※ ボールタップが回転すると浮玉がタンク側壁と干渉して止水不良の原因になります。



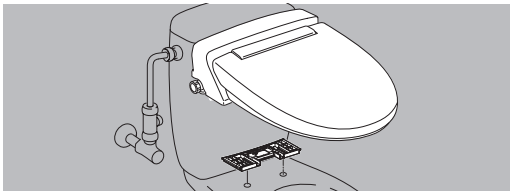
【注意 2-9】

- タンク給水ホースは鋭角に曲げない。
※ 破損して漏水の原因になります。
- パッキンは必ず付属品を使う。
※ 漏水の原因になります。



3 本体着脱プレートの取付け

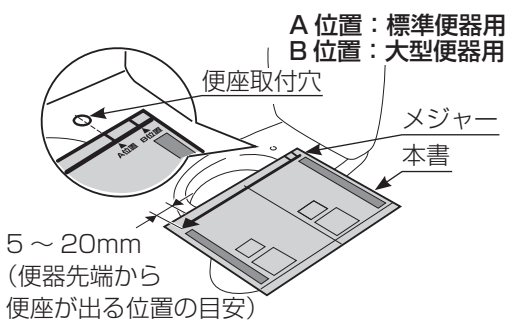
既存の便座を取り外す場合は、【補足3】をご覧ください。



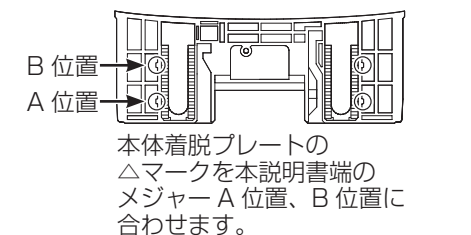
1. 本体着脱プレートの取付位置を確認する。

※ 本説明書端のメジャーで便座取付穴から便器先端までを測り、本体着脱プレートの取付け位置を決定します。

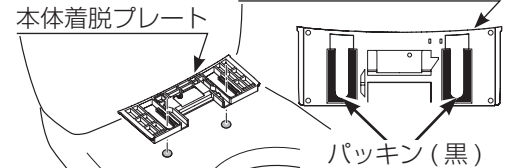
- ① 便器が標準サイズの場合 **A 位置**、大型サイズの場合 **B 位置** を便座取付穴に合わせます。
- ② 矢印が便器先端から目安として 5～20mm 出る位置を選択します。



- ③ 便座取付穴と本体着脱プレートの取付位置を合わせます。



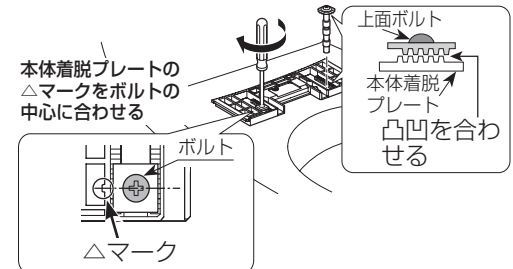
※ 本体着脱プレートはパッキン（黒）が付いている側を便器側に向けます。
本体着脱プレートの裏側



2. 本体着脱プレートを固定する。

【注意 3-1 参照】

- ① 上面ボルト2本を穴に差し込みます。
※ ゴム部に水をつけると挿入しやすくなります。
- ② ボルトが浮かないように、上から押しながら、回らなくなるまでしっかりと締め付けます。この後さらに 1～2 回転程度回し、確実に締まっていることを確認してください。
(締付トルク 1.0～3.0N・m {10～30kgf・cm})
※ インパクトドライバーは使用しないでください。



【注意 3-1】

- ボルトの締め付けは偏りのないよう、左右交互に少しずつ行う。
※ 締め付けが緩いと便座がずれたり外れたりする原因になります。

4 シャワートイレ本体の取付け

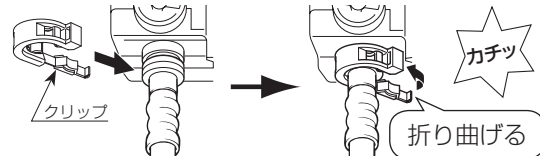
1. 本体給水ホースを本体側に取り付ける。



- ① 保護カバーを外します。
- ② 本体給水ホースを差し込みます。
給水ソケットは回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

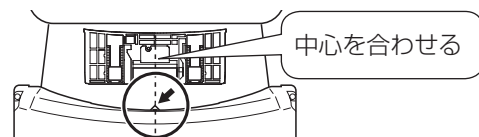
【注意 4-4 参照】

- ③ クリップで固定します。【注意 2-2 参照】
【注意 2-3 参照】【注意 4-5 参照】【参考 2-1 参照】
※ クリップに方向性はありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



2. シャワートイレ本体を取り付ける。

- ① 本体を本体着脱プレートの手前に置きます。
- ② 本体着脱プレートの中心と本体背面部の凸部を合わせます。



- ③ 本体を本体着脱プレートが見えなくなるまで、奥にゆっくりスライドさせます。
※ 「カチッ」と音が鳴るまでしっかりと押し込んでください。
※ 本体を前後左右に軽く揺らして、確実に固定されていることを確認してください。
※ 本体のガタつきが気になる場合は、上面ボルトをしっかりと締め付け直してください。(【3-2-②】)
※ 本体着脱の構造上、ガタつきは完全にはありません。

【注意 4-1 参照】【注意 4-2 参照】
【注意 4-3 参照】【参考 4-1 参照】

3. 本体給水ホースを分岐金具側に取り付ける。

- ① 保護カバーを外します。
- ② 本体給水ホースを差し込みます。

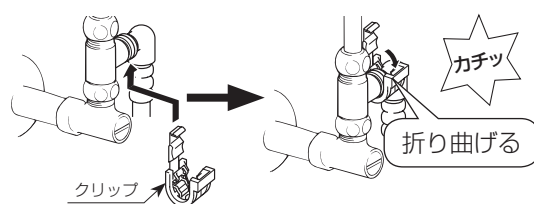
【注意 4-4 参照】



- ③ クリップで固定します。

【注意 2-2 参照】【注意 2-3 参照】
【注意 4-5 参照】【参考 2-1 参照】

※ クリップに方向性はありません。
※ 取付後にクリップを回し、確実にハマっていることを確認してください。また、給水ホースを軽く引き、確実に接続されていることを確認してください。



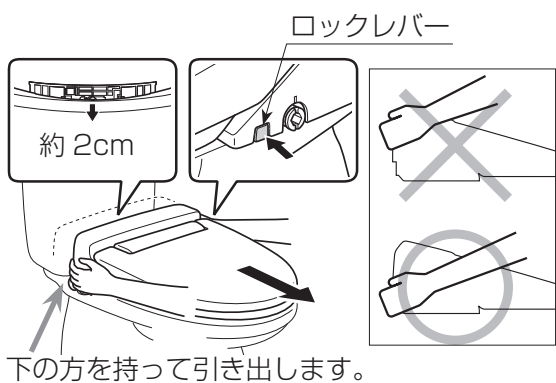
■ QV タイプの場合

QV タイプの場合は、右図のようにシャワートイレ本体底部のコネクターに洗浄ユニットコネクターを接続します。



■ 本体の外し方

- ① 本体向かって右側にあるロックレバーを押しながら、約 2cm スライドさせます。
- ② ロックレバーから指を離して、さらにスライドさせます。



【注意 4-1】

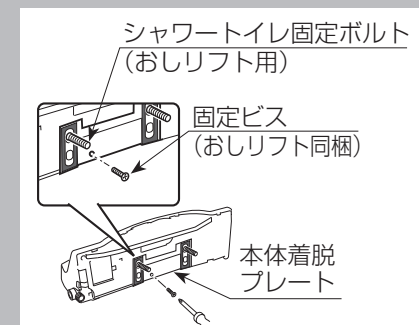
- 取付けの際は、必ず付属の部品を使用する。

【注意 4-2】

- 電源プラグに衝撃をかけたり、便器内に水没させないように注意する。

【注意 4-3】

- 便座昇降装置おしりフト (CWA-40) とセットする場合、おしりフト説明書セットに同梱の固定ビスを本体着脱プレートのビス穴に取り付ける。



【注意 4-4】

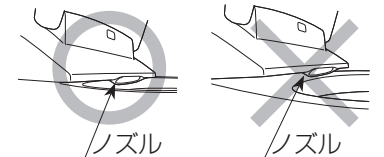
- 本体給水ホースが折れ曲ってしまう場合は、分岐金具の向きを調節する。
※ 破損して漏水する恐れがあります。

【注意 4-5】

- クリップの先端が「カチッ」と音がするまで確実にハマ込む。
※ 漏水の原因になります。

【参考 4-1】

- ノズルが、便器のリム部に乗り上げないように取り付けてください。



【参考 4-2】

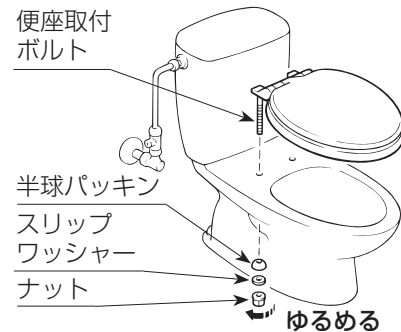
- 便器によっては、便座の取外し方が説明と異なる場合があります。
- 取り外した便座は、引っ越しのなどを考え、保存しておくことをお勧めします。

補足 3

既存の便座の取外し【参考 4-2 参照】

■ ボルト式の場合

1. 便器裏側の便座取付ボルトのナット、スリップワッシャー、半球パッキンを外す。
2. 便座を持ち上げて便座取付ボルトごと取り外す。



■ さや式の場合

1. 既存の便座を持ち上げて外す。
2. さやの中のボルトをゆるめて、ボルトを下に押し込む。
3. さや 2 本を便器から抜きとる。

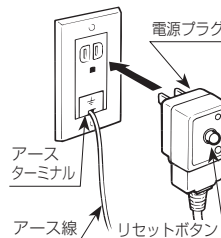


5 電源の接続

1. 電源プラグをコンセントに差し込む。

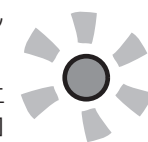
【注意 5-1 参照】

- ① アース線を接続します。
- ② 電源プラグを差し込みます。



2. 電源が入っていることを確認する。

本体表示部の電源ランプが点灯していることを確認してください。
確認後は温水タンクの空だき防止のため、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。
(電源投入後 40 秒以内を目安にしてください。)



⚠ 警告

- 確実にアース線をアースターミナルに接続する。
※ 接続しなかったり、不適切な接続状態では、感電・火災の原因になります。
※ コンセントにアースターミナルがない場合は、電気工事店にご相談ください。

【注意 5-1】

- 電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグのリセットボタンを押して、電源ランプが点灯することを確認する。
※ 電源プラグを差し直すときは、10 秒程度時間をあけてください。
- リセットボタンを押しても電源ランプ（緑）が点灯しない（電源プラグの表示ランプが点灯する）場合は、200V が通電していないかを確認する。

6 リモコンの位置決め・取付け

リモコンに同梱されている施工説明書にしたがって、リモコンを取り付けます。

7 試運転（施工が終わったら、次の要領で試運転を行います。）

●水漏れ箇所はありませんか？

1. 止水栓を元の位置まで開く。

漏水確認	チェック欄	確認内容	
	☐	漏水していませんか？ ※ 便器洗浄を数回行ってください。 （給排水接続部は数回繰り返して水を流さないと、確認が困難な場合があります。）	
		① 止水栓部および給水ホースとの接続部	
	☐	② 本体と給水ホースとの接続部	

●おしり・ビデ洗浄は正常ですか？

【注意 7-1 参照】【注意 7-2 参照】【注意 7-3 参照】

1. 電源が入っていることを確認する。
2. 着座センサーを白っぽい紙や布で覆う。



確認機能	チェック欄	確認内容	
おしり ノズル	☐	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約 1 ～ 2 分かかることがあります。 ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	☐	2. 【止】を押すと水が止まりますか？	
ビデ ノズル	☐	1. ノズルから水が出ますか？ ※ 温水タンクが満水でない場合、洗浄強さが「弱」、「中」にあると、シャワーが出ないことがあります。必ず洗浄強さの設定を「強」にしてください。またシャワーが噴出するまでに約 1 ～ 2 分かかることがあります。 ① 【ビデ】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	☐	2. 【止】を押すと、水が止まりますか？	

※ シャワー使用時とその前後など、ノズル付近から水が出ますが、これは機能上必要なもので、故障ではありません。

3. 約 15 分たった後、温水が出るか、便座が温まるかを確認する。

確認機能	チェック欄	確認内容	
おしり ノズル	☐	1. ノズルから適温の温水が出ますか？ ① 【おしり】を押します。 ② シャワーが噴出するため、シャワーを手のひらで受けます。	
	☐	2. 【止】を押すと温水が止まりますか？	
暖房便座	☐	1. 便座に手で触れ、暖かくなっていますか？	便座

4. 着座センサーを覆っている紙や布を外す。

●便フタや便座がロータンクフタや窓枠・壁・甲板などに当たりませんか？

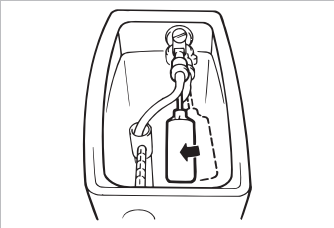
1. 便フタ・便座を開き、ロータンクフタ・窓枠・壁・甲板などに当たるかを確認する。
2. 便フタ・便座が当たる場合は、当たり音・傷などの軽減のため、当たるところに別売品の当たり止め（品番：75-2608）を手配して貼り付ける。
※ 貼付け面をきれいにふき取ってから貼り付けてください。

【注意 7-1】
● インバータ照明下でリモコンを使用した場合、トイレの環境条件によりシャワートイレが作動しないことがあるので、照明を消して動作を確認する。

【注意 7-2】
● 着座センサーがあるため、おしり洗浄、ビデ洗浄は着座しないと作動しない。

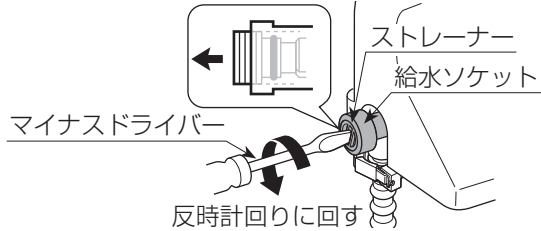
【注意 7-3】

- タンクへの給水が止まらなくなったり、給水しなくなった場合は、浮玉がタンク内側の壁に当たっていないことを確認する。浮玉がタンク内側の壁に当たっている場合は、以下の要領で直す。
 1. タンクのナットを緩めて、ボールタップを垂直に立てます。
 2. ボールタップを手で押え、タンクのナットを締め直します。



水の出方が悪い場合は、ストレーナーを掃除してください。

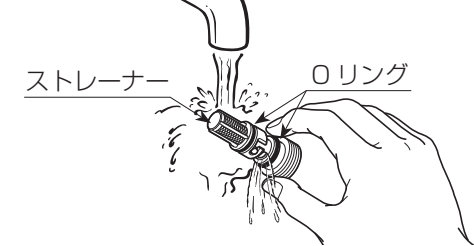
1. 「止水栓」を開めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
2. 本体向かって左下の給水ソケットを手で支えながら中央にある「ストレーナー」を工具で回して外す。
【注意 8-1 参照】
※ このとき少量の水がこぼれますので、洗面器などを下に置いてください。



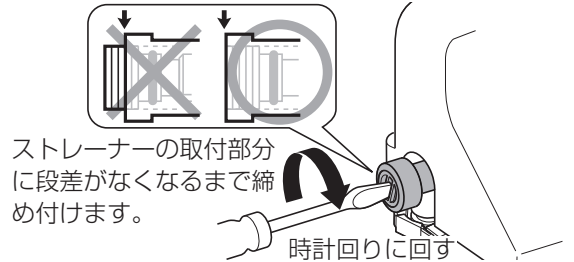
- ※ 工具が届かない場合は、本体を外してください。
- ※ ストレーナーを外す際、給水ソケットも回転しますが、これは構造上によるもので、故障ではありません。

【注意】
ストレーナーを外す際は、給水ホースにキズを付けないように注意してください。

3. 「ストレーナー」や「O リング」に付いているゴミを水洗いして完全に除去く。



4. 給水ソケットを手で支えながら、「ストレーナー」を工具で確実に取り付ける。

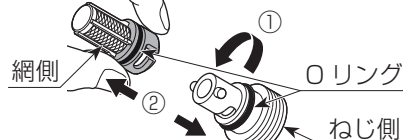


【取付時の注意】
ストレーナーを外して水洗いした場合は、しっかりとまっていることを確認してください。

5. 「止水栓」を元の位置まで開く。

6. ストレーナー部から水漏れしていないか確認する。

- ストレーナーの汚れがひどい場合はストレーナーをねじ側と網側に外し、水洗いしてください。
※ O リングにキズを付けないように注意してください。O リングが切れたり、キズが付いたりすると漏水します。
- ※ 鋭利な物などで、網にキズを付けないよう注意してください。
- ※ 網が破れるとゴミが侵入し故障の原因となります。

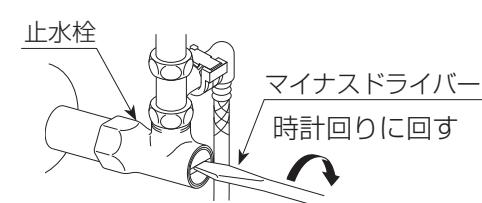


【注意 8-1】

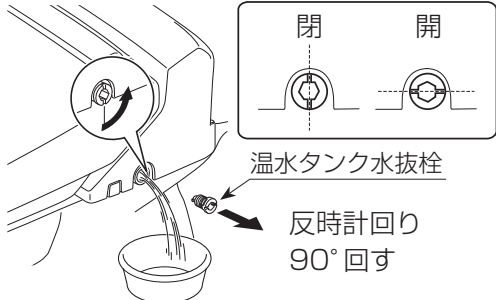
- ストレーナーを外すときは、必ず止水栓を閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、段差がないようにしっかり閉める。
- ストレーナーを取り付ける際は、ゴミが O リングに付着していないことを確認する。
※ 漏水し室内浸水の原因になります。

お客様にお渡しするまでに凍結が予想される場合は、水を抜いておいてください。

1. 「止水栓」を開めて、給水を止める。
※ 止水栓は調節されているので、元の位置（どのくらい回したか）を覚えておいてください。
※ 寒冷地用水抜きは、室内の水抜栓を操作します。



2. ロータンクの洗浄ハンドルを操作して、タンク内の水を抜く。
3. 電源プラグをコンセントから抜く。
4. 温水タンクから水抜栓を外して、温水タンクから水を抜く。
あらかじめ水受け（約 1 L 以上入るもの）を用意します。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を反時計回りに 90° 回して外します。
※ 出し始めは水の勢いが強い場合がありますので、ご注意ください。

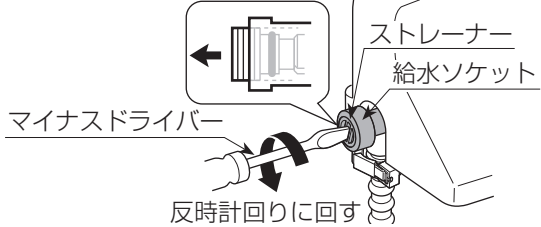


5. 水抜き完了後、水抜栓を取り付ける。
マイナスドライバーを使って、水抜栓を時計回りに 90° 回して確実に取り付けます。

6. 本体給水ホースから水を抜く。

【注意 8-1 参照】

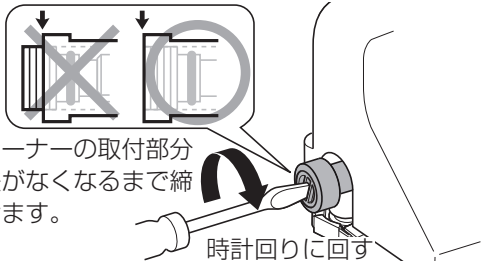
- ① ストレーナーの下に洗面器などを置きます。
- ② 給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具で回して外して、ストレーナー部や O リング部に付いているゴミを水洗いして完全に除去します。



- ③ シャワートイレ本体を便器から取り外します。
（「④シャワートイレ本体の取付け手順 2」の逆の手順）



- ④ 本体を傾けてストレーナー取付口から、本体給水ホース内の水を抜きます。
- ⑤ 水抜き完了後、給水ソケットを手で支えながら、ストレーナーを工具でしっかりと締め付けます。



ストレーナーの取付部分に段差がなくなるまで締め付けます。

- ⑥ シャワートイレ本体を便器に組み付けます。
7. 電源プラグをコンセントに差し込む。
8. 【おしり】を押し、本体バルブ内の水を抜く。
※ 着座センサーを手で覆って【おしり】を押してください。
9. 約 5 秒後、【止】を押す。
10. 電源プラグをコンセントから抜く。

施工業者さまへ

お客様に必ず本書、取扱説明書、保証書・所有者登録のお願いをお渡しください。
保証書の取扱店欄には、施工業者さまの住所、氏名、電話番号を明記のうえ、お客様にお渡しください。
なお、保証書・所有者登録のお願いは、製品本体に貼り付けてあるか、製品本体に同梱してあります。お渡しするときは、使用方法をご説明いただくとともに、所有者登録を行っていただきますようご説明ください。
※ 所有者登録の際、便フタ裏または製品本体の表示が必要となります。表示位置をお客様に必ずお伝えください。
※ 定期的に点検が必要な部品があることをお客様に必ずお伝えください。

快適機能の設定はしないでください！

■快適機能の設定はお客様におまかせください。

シャワートイレの快適機能は、お客様の好みで設定する必要があります。もし、施工業者さまで設定する場合は、お客様に設定した機能とその機能説明をお願いいたします。
特に節電機能は、お客様が意識していないと、便座や温水が冷たく感じる場合があります。

快適機能とは
お客様にシャワートイレを快適にご使用いただくため、次のような機能が備わっています。
●便座・温水の温度* ●脱臭機能 ●節電機能
●便座ヒーターオート OFF
●温風始動温度切替え
●プラスマクラスター機能
*：試運転確認後、必ず「低」に戻してください。
※機種によっては、一部機能がない場合があります。